

2018年

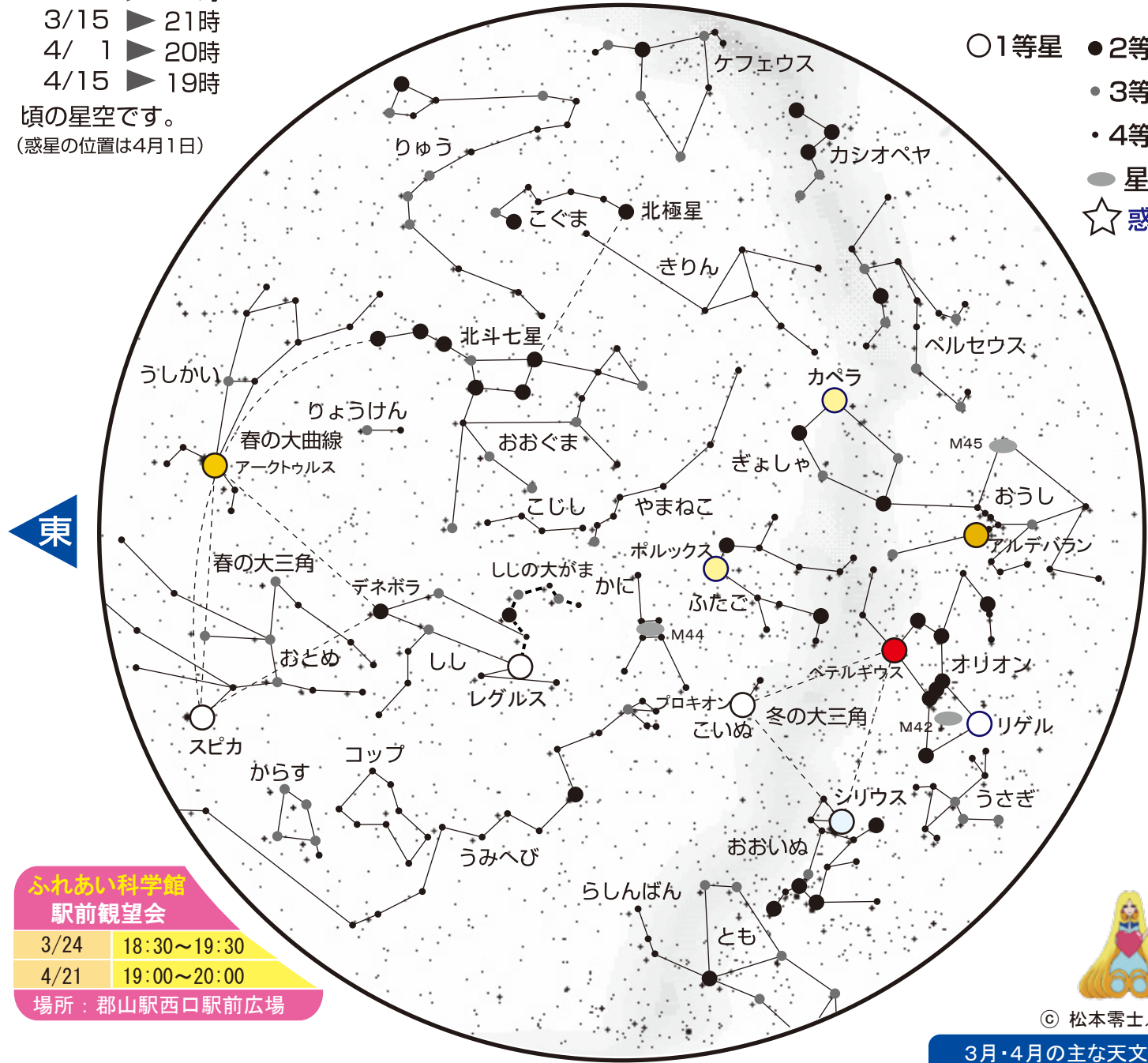
3月▶4月の星空



この図は
 3/ 1 ▶ 22時
 3/15 ▶ 21時
 4/ 1 ▶ 20時
 4/15 ▶ 19時
 頃の星空です。
 (惑星の位置は4月1日)

北

- 1等星 ●2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆惑星



南

**ふれあい科学館
駅前観望会**

3/24 18:30~19:30
 4/21 19:00~20:00

場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士/郡山市

3月・4月の主な天文現象

3/16	水星が東方最大離角
3/21	春分
4/ 2	火星と土星が最接近
4/23	4月こと座流星群極大

郡山の日の出・日の入			月の満ち欠け	
3/ 1	6:10	17:32	新月	3/17, 4/16
3/15	5:50	17:46	上弦	3/25, 4/23
4/ 1	5:25	18:01	満月	3/ 2, 4/30
4/15	5:04	18:14	下弦	3/ 9, 4/ 8

※上弦、下弦は半月です。

冬の寒さも和らぎ、外へ出かけやすい季節になりました。夜空でも冬から春へと季節が進んでおり、この時季は2つの季節の星が見えています。西の空では冬の星座が輝いています。3月まではオリオン座の「ベテルギウス」とおおいぬ座の「シリウス」、こいぬ座の「プロキオン」からできる「冬の大きな三角」がよく目立ちます。4月に入ると冬の大きな三角の星は早い時間に沈むようになりますが、ふたご座の「カストル」と「ポルクス」やぎよしゃ座の「カペラ」は夜遅くでも見つけることができます。ベテルギウスは赤、シリウスは青白いなど、星はそれぞれの色で輝きます。それぞれの星の明るさや色の違いも観察してみましょう。

南から東の空には春の星座が昇ってきています。うしかい座の「アークトゥルス」、おとめ座の「スピカ」、しし座の「デネボラ」を結ぶと三角形ができます。これが「春の大きな三角」です。冬の大きな三角と春の大きな三角はどちらも整った形で、春の大きな三角のほうがやや大きめです。春の大きな三角は、頭上にある北斗七星を目印にするととりやすいです。北斗七星の大きなひしゃくのカーブをのぼすと「アークトゥルス」と「スピカ」があり、この大きなカーブを春の大きな大曲線といいます。「デネボラ」は他の星より暗いため、しし座の「レグルス」を先に見つけておくと探しやすいです。しし座の頭から「レグルス」までをつないだ「ししの大きな三角」もたどってみましょう。日中は暖かくても夜はまだ冷え込みますので、暖かい服装で星をご覧ください。

